

ふりがな 氏 名	ふじまき ひろまさ 藤巻 裕昌	職 名	講師
取 得 学 位	教職修士(専門職)	学会での受賞歴	無
主な担当科目	スポーツ 健康科学 健康の科学 保育内容演習(健康) 保育内容の理解と方法(身体) 保育・教職実践演習(幼稚園) 保育者養成基礎講座 保育者養成発展講座 保育者養成実践講座		
所 属 学 会	日本体育・スポーツ・健康学会 発育発達学会 体育科教育学会 日本体操学会 日本保育学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
全学共通科目「スポーツ」	2018、 2019年 2020年4 月～7月 2019年、 2020年9 月～2021 年1月、 2022年4 月～7月	学生が生涯を通してからだを動かす習慣を獲得するために多くの運動・スポーツ種目を体験し、その活動内容の理解と具体的な方法を知る機会を与えた。体育の授業において苦手意識がある学生にもおこないやすいように個人のスキルではなく、チームのスキルを高めることに重点をおいて授業を計画し実践した。
全学共通科目「健康科学」、「健康の科学」	2018、 2019、 2020、 2021、 2022年4 月～7月、9 月～2023 年1月	学生が授業を通して健康に関する考え方について多様な価値観が存在するなかで自らの考えに基づき、生活の仕方をどのように実施するのかを考える機会を与えた。身体の構造、しくみ、そして健康問題を取り上げ、生活習慣における健康を維持・増進するための具体的な方法、また運動実施方法についても紹介した。学生が身体を動かすことの必要性を自覚し、習慣的に身体を動かす必要性に気づく機会となればと考えて授業を構成した。知識的な内容を講義する際に、資料提示をおこない学生が書き込む形で授業を授業する形式を取り入れて実施した。また視覚的に分かりやすいように講義の内容に関連する映像教材を導入し理解を深める機会を与えた。
保育内容演習 健康	2017 2018、 2019、 2020、 2021、 2022年4 月～7月、9 月～2023 年1月	現在の子どもたちの身体面の現状を理解させるために、資料年鑑で示されている客観的なデータから比較した結果をまとめ、講義を通して知識を伝達した。また保育所、幼稚園現場で実践検証された教材を紹介し、自らが保育者として現場に立った際に即実践できる保育教材を紹介し、実技を通してその教材の有効性について体験させ、検証した。2018年度から安全管理・教育の内容として、「チャイルドビジョン」を導入し、実体験から子どもの発達上の課題を認識する取り組みを導入した。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
保育内容の理解と方法(身体)	2018、 2019、 2020、 2021、 2022年9月 ～2019年1 月	学生の主体的な学びを通して保育者としての専門的な知識、技術を習得する目的で「授業ノート」を導入した。毎回の授業内容を見開き1ページ程度に配布資料、確認事項(口頭説明内容や板書内容)等をまとめることを提示して実践した。授業内容をまとめ、振り返る機会として中間と期末に習熟度を確認し、学生は概ね実施可能な内容となった。
保育者養成基礎講座	2018、 2019、 2020、 2021、 2022年4 月～7月	初年次教育の一端となるようにゼミ単位の活動でクラス間の枠を超えて学生同士が交流できるように自らの考えていること、これまでの自分と今後の目標をまとめたことを発表させた(アイスブレイキング)。また、聴講側の学生には付箋に良かった点とアドバイスをコメントさせ、発表終了後にその都度、一覧に示せるように添付し発表者にフィードバックした(ブレインストーミング)。
保育者養成発展講座、保育者養成実践講座	2018、 2019、 2020、 2021、 2022年4 月～7月	保育士、幼稚園教員採用試験の対策試験として面接指導を面接官2名と受験者1名で実施した。また、面接対策の一環として学生間で役割(面接官、受験者)を設定させ、面接練習をおこなわせた。その際に、面接官役の質問項目は採用試験の過去の事例からシナリオを設定した資料を配布し実施させた。
保育・教職実践演習(幼稚園)	2018、 2019年9月 ～2020年1 月	オムニバスの授業形態で担当する部分は、成長発達段階における運動・遊びの重要性に着目し、発達上で求められる運動・遊びの内容や課題についてグループワークを通じて交流させた。段階的にグループワークを進める中で、個々の運動・遊びの具体的な視点をまとめ、口頭及び資料(レジュメ、パワーポイント、模擬保育実践等)で発表させた。
保育内容の理解と方法(身体)	2019、 2020、 2021、 2022年9月 ～2023年1 月	学生の主体的な学びを通して保育者としての専門的な知識、技術を習得する目的で「授業ノート」を導入した。毎回の授業内容を見開き1ページ程度にまとめさせた。配布資料、確認事項(口頭説明内容や板書内容)等を主に授業内容をまとめ、振り返る機会として中間と期末に習熟度を確認し、学生は概ね実施可能な内容となった。
保育・教職実践演習(幼稚園)	2019、 2020、 2021、 2022年9月 ～2023年1 月	オムニバスの授業形態で担当する部分は、成長発達段階における運動・遊びの重要性に着目し、発達上で求められる運動・遊びの内容や課題についてグループワークを実施。その後、各グループで8つのテーマから模擬保育内容を検討し、模擬授業を実践。その実践と振り返りとして自他の評価を実施させ、自己課題を明確にさせた。
スポーツ	2021、 2022年4月 ～8月	「運動学習シート」を導入。主体的な取組を期待して授業期間の身体活動の記録を月毎に振り返り、フィードバックを実施し、体力向上を図り、定着化の意義を推奨した。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
<p>スポーツ実践演習(バドミントン)集中講義 (愛知県立大学)</p> <p>保育内容 健康Ⅱ (愛知淑徳大学福祉貢献学部福祉貢献学科子ども福祉専攻 専門科目)</p>	<p>2018、 2019、 2020、 2021、 2022年9月</p> <p>2018、 2019、 2020、 2021、 2022年9月 ～2023年1 月</p>	<p>全学共通科目のスポーツ科目として集中授業の授業を担当した。種目は「バドミントン」を実施し、初心者から経験者の多様な履修者にバドミントンの文化性、歴史、基礎・基本から応用のゲームまで幅広く展開した。最終段階では、簡易なチームによる団体戦も企画、実践した。</p> <p>各グループで8つのテーマとして、「保育内容 健康」領域に関連した模擬保育内容を検討し、模擬授業を実践。その実践と振り返りとして自他の評価を実施させ、自己課題を明確にさせた。</p>
<p>平成30年度公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツ上級指導者、指導者養成講習会(専門 科目) 講師</p> <p>2019年度公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツコーチ1 養成講習会(専門科目) 講師</p> <p>2020年度公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツコーチ1 養成講習会(専門科目) 講師</p> <p>2021年度公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツコーチ2 養成講習会(専門科目) 講師</p>	<p>2018年 11月10日、 12月8、15 日</p> <p>2019年 12月14日</p> <p>2020年 11月14、28 日、12月14 日</p> <p>2021年 11月13、27 日、12月11 日</p>	<p>公認指導者資格を取得する上で必修となる講習を開催、運営した。講義ならびに実技講習、検定員を実施した。歴史、技術論、トレーニング論Ⅰ 講義・実技 成長、発達、上達に応じた指導法 講義・実技</p> <p>公認コーチ1 資格を取得する上で必修となる講習を開催、運営した。講義ならびに実技講習(科目名:ゲーム指導 ステージ2、ゲーム指導ステージ3)講師、実技検定員を実施した</p> <p>公認コーチ1 資格を取得する上で必修となる講習を開催、運営した。講義ならびに実技講習(科目名:コーチング実習Ⅰ-2、ゲーム指導 ステージ1、2)講師、実技検定員を実施した</p> <p>公認コーチ2 資格を取得する上で必修となる講習を開催、運営した。講義ならびに実技講習(科目名:バドミントンの技術Ⅱ-1・2、バドミントン・コーチング実習Ⅱ-4)講師、実技検定員を実施した</p>
<p>令和4年度愛知県現任保育士研修 講師担当 対象:認可外 科目名:保育の身体表現</p> <p>令和4年度愛知県現任保育士研修 講師担当 対象:初任研修 科目名:技能(身体表現)</p>	<p>2022年9月 3日</p> <p>2022年9月 17日</p>	<p>幼児期には、基本的な動作の獲得のために多様な動きを引き出すポイントを交流しながら確認し、具体的な運動・遊びの内容を紹介しながら日々の保育・教育活動が一層、充実したものとなるように教材を紹介した。</p> <p>初任者を対象として、幼児期の発達の特徴を捉えた基本的な動作の特徴やその具体的な指導方法、援助に関して教材事例から確認した。日々の保育・教育活動が一層、充実したものとなるように教材を紹介した。</p>

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所/誌名・巻号/学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	<p>未来を見据えた保育者目指して「第2章 健康:『健康な心と体』の育ち」</p> <p>未来を見据えた保育者目指して「第3節 身体表現: 内容の捉え方と指導上の留意点」</p>	共 共	2018年2月 2018年2月	<p>学校法人越原学園名古屋女子大学短期大学部保育学科編集/発行、鳴海出版 (ISSN978-4-907952-17-4) (140-149頁)</p> <p>学校法人越原学園名古屋女子大学短期大学部保育学科編集/発行、鳴海出版 (ISSN978-4-907952-17-4) (192-202頁)</p>	<p>保育者養成校に在籍する学生に向けた未来を見据えた保育者になるために学ぶ専門的知識を体系的に示した教材集。「第2章 健康:『健康な心と体』の育ち」を執筆・担当。 著者:佐々木昌代・藤巻裕昌・小田香里</p> <p>保育者養成校に在籍する学生に向けた未来を見据えた保育者になるために学ぶ専門的知識を体系的に示した教材集。「第3節 身体表現: 内容の捉え方と指導上の留意点」を執筆・担当。 著者:佐々木昌代・藤巻裕昌</p>
論文	<p>女子教育における「体育」の教科内容の変遷と実態について―「体錬科」の設置の主旨と教育内容及び教材に着目して―</p> <p>「幼児期の運動遊びにおける教材研究」―体育学の視点からみた保育内容領域「健康」の教材の考察を中心に―</p>	単 単	2018年5月 2019年5月 2018年3月	<p>「総合科学研究」第12号 (ISSN1881-5065) 174頁</p> <p>「総合科学研究」第12号 (ISSN1881-5065) 33頁</p> <p>「総合科学研究」第13号 (ISSN1881-5065) 83頁</p> <p>名古屋女子大学紀要 第64号 人文・社会編 223-235頁</p>	<p>教科としての「体育」の変遷における「体操科」、「体錬科」の内容を調査し、女子教育との関係に着目して現在でも教育活動における教材化が可能な内容について検証した。</p> <p>原著論文 査読無 保育内容領域「健康」の教育内容と方法について、教材論を確認し、保育者養成機関の授業づくりとして基礎資料を得る目的から考察した。また、幼児教育の段階における保育現場に有用な教材を実践、検証した。 著者:藤巻裕昌</p>

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所／誌名・ 巻号／学会・展 覧会・演奏会の 名称(会場名)	備 考
学会発表	幼児の投球動作と投距離に及ぼす目標物設置の影響	共	2019年9月	日本体育学会 第70回大会 慶應義塾大学	本研究では4歳児クラスの男女幼児を対象に、目標物を設定した場合の投球動作と投距離がどのように変化するか検討した。投球動作パターンが未熟な幼児には投球動作自体を指導するのではなく、目標物を設定して投球方向(投球角度)を理解させることが効果的な指導方法であることが示唆された。
	女子短期大学生の睡眠に関する実態調査	共	2019年9月	日本体育学会 第70回大会 慶應義塾大学	女子大学生の心身の休息を確保する睡眠が脅かされているのではないかと考え、睡眠に関する実態調査を実施した。学生の睡眠時間は5～6時間はあるものの就寝時間は遅く、睡眠時間の確保を脅かす要素は学業だけではなくその他の因子も大きく関わっていることが示唆された。
	パラバルーンを使用した集団演技の制作に関する一考察 星野秀樹、加藤 渡、藤巻裕昌	共	2020年5月 16日	日本保育学会 第73回大会 奈良教育大学 ※新型コロナウイルス感染拡大のため誌上発表	教材パラバルーンを導入することで保育を学ぶ学生自身が「身体表現」の楽しさを体験し、表現方法や活動内容の広がりを理解し、身体表現遊びの本質的な意義の解釈を、その身体を通して実感することの重要性が指摘できる。その経験が子どもたちによる身体表現活動への内容、指導法の事例検討として適切な教材となることが理解できた。
	女子学生の体温と生活習慣、身体特性との関連について	共	2022年8月 31日、9月1日、2日	日本体育・スポーツ・健康学会 第72回大会 順天堂大学	本研究では女子短期大学生の体温(平熱)をアンケート調査(web)により、特に体温が低い学生の身体特性や身体運動、食事・栄養、睡眠などとの関連性について調査し、学生たちの健康管理の基礎資料とすることを目的とした。体温調節は生体機能の恒常性維持のために非常に重要な生理機能の1つである。特に女性に多いと指摘される低体温は基礎代謝や免疫機能の低下をもたらし、様々な疾病の要因ともなりうる。過去2年間以上にもわたる新型コロナウイルス感染症(COVID 19)の蔓延によって、アンケート調査結果から日常的な体温測定が生活の一部として定着してきており、自分の体温に興味を持った学生も多いと考えられる。

